

白谷うんすいきょう

神山小 五年 財部 みれい

私は、お母さんとおじいちゃんやと三人で、

「もののけの森」へたんけんにいきました。

森の中は、空気がすんでいて、木の静かな森で

す。まわりをみわたすと、今にも木森のようせい

がはなしかけてくるようなふんいきでした。

おくには、いついときりかかかっているところ

もあって、まじかたに、もあうことがで

きました。岩やきりかぶには、なん種類もの

屋久島町立神山小学校

こけがはえていて、自然じぜんで、すげいなあつて思

います。きりがぶからは、あたらしい葉が出

ていて、すくすくのびている木もありました。

順路の道には、さるやしかのふんがたくさん

おちていました。まわりをみわたして、そのど

うぶつは、かくれていないかさが、なからす

すんでいきました。私は、気持ちが高ぶって

いたので、ひとりですぎに、いついたら、お母

さんとおじいちゃんには、さついで道のりだ、

たよつで、かなりはなれたところをいきぎれ

しながら私においつこうとむっしに歩いてき
ました。お母さんは、自然を楽しみおやうも
ないとなげいていました。おいしいすやんは、
お母さんよりもうとよゆうがなく、ひとこと
も話すことなく歩いていました。そんな二人
を私は、気づかひながら一人たんけんしてい
きました。ぼろんな自然とむきあうことがで
きました。このたんけんをしたことで、自然心
を大切にしないといけないという気持ちがあ
るようになりました。うにうよく感じるようにな
りました。家に帰ってきても、そののけりめ
は、いさばんかんどうすることができま
した。みなさんもぜひためしてみてください。